

結成五周年記念

日本新舞踊振興会 主催

これが歌謡曲舞踊だ……各流各派会員による

第二回 新舞踊大会

● 浅草公会堂

● 昭和59年2月12日(日)

開演11時／入場料2500円

番組

開演 11 時

司会 田窪繁子

1 東 雲 節

池田くにえ社中

2 浅草しぐれ

入佐理見子
織戸喜美枝
石岡徳美佐

3 勇 み 船

若柳双寿勇
若柳双勝
若柳双勝

4 北 の 噂

若美秋重

5 細 雪

青島記江

6 人 生 峠

榎本辰次郎

7 風流日本橋

赤羽敏子

8 お島千太郎

赤羽恵美子
伊藤厚子

9 南部坂雪の別れ

若柳一双

10 千鳥の舞

高田光代

11 紬 の 女

山本幸子
荒井あい子

39 恋 吹 雪

西山トミ
菊池ふじえ
真寿美徳美

40 人 生 劇 場

藤間芳子

41 竜馬がゆく

高嶺泉勝

42 雪 舞 い

田中くに子

43 情 け 雨

永島君代
高橋幸子
相坂定子
岩井すず子

44 華 扇

菊泉三貴久
菊泉三司
菊泉三繁

45 望 郷 酒 場

高嶺彰春
高嶺彰福
高嶺彰啓
高地英嘉
山野内キヨ子
山内キヨ子

46 紬 の 女

三喜千勢峰社中

47 おしんの子守唄

高嶺勝也

48 花 の 宴

上野志津子

49 俵 星 玄 蕃

若柳双勇

50 浅草しぐれ

地場シヅ

51 白 鷺 の 城

市川仁彩美

52 京 の 四 季

下志津

25 さざんかの宿	24 華 扇	23 あゝ大阪城	22 赤坂ワルツ	21 湯の町しぐれ	20 菊と桔梗	19 めでた尽し	18 人妻椿	17 雨の木屋町	16 雪 舞い	15 大阪しぐれ	14 会津の小鉄	13 黒田 節	12 矢切の渡し
今関千家	若柳双勝 若柳双寿	海野武	高嶺彰輔 高嶺勝貴 高嶺舞泉 高嶺勝一 高嶺勝八	新田久代	河原路代	高嶺勝也社中	高嶺勝八重	矢辺幸恵 矢辺あや子	真寿美徳美 織戸君子 入佐利江子	花川蝶輝栄社中	石崎春次 原田やえ	間部儀晴	鈴木こなみ

66 兄弟船	65 黒田 武士	64 矢切の渡し	63 細 雪	62 真赤な太陽	61 白鷺の城	60 正調博多節	59 浅草しぐれ	58 無法松の一生	57 恋の舞扇	56 下町ごころ	55 会津の小鉄	54 淡海恋唄	53 矢切の渡し
高嶺彰輔 高嶺榮彰	安藤芳治	三喜勝寿賀社中	石岡徳寿佐 中沢徳寿甫	高嶺勝貴 高嶺舞泉 高嶺勝一 高嶺勝八	上田よしの	高嶺勝花	若柳橋八重	高嶺泉	桜井和子	高嶺勝衣	松隈千夜子	西山トミ 中沢徳美甫 入佐理見子	宮本良子

26 木遺の兄貴

永島君子代
高橋幸子
相坂定子
岩井すず子

27 荒城の月

小川亜紀
関口早代子

28 浅草しぐれ

榎若勧佳

29 紀の国屋文左門

加古川銀子

●御挨拶

日本新舞踊振興会
会長 高嶺泉勝

30 むらさき小唄

市川久江
青木しげ

31 お役者仁儀

石毛光枝

32 とつちりとん

養和初江

33 明治一代女

田中亘子

34 白浪五人男

高嶺勝一
高嶺勝八
高嶺舞泉
高嶺勝貴
高嶺彰輔

35 お役者仁儀

海野節子

36 盛り場渡し舟

若柳絹重
若柳幸恵

37 よさこい節

石井佐喜子
大沢鈴恵

38 真実節

間部儀晴

67 細雪

中村ゆう子

68 謙信出陣

西沢あい子
伊藤文明子
遠藤文子
石田弘子
吉田良子

69 人妻椿

高嶺左泉
高嶺勝洋
高嶺勝花
高嶺勝衣
高嶺楽彰

70 兄弟船

三喜千勢代
三喜紀勢代
三喜藤勢
三喜紫勢代

71 白浪五人男

若柳双恵
若柳双栄
若美孝
若美華
若美政

●特別番組

榎若勧二郎・舞姿花色彩

特別出演

日本新舞踊振興会特別講師
日本舞踊榎若流宗家
榎若勧二郎

高嶺泉勝

御 挨拶

初春の候 皆様にはようこそお越し下さいました

此の度 日本新舞踊振興会結成五周年記念の新舞踊大会を会員の皆様並びに協賛各社のご協力を得て開催できましたことは誠に同慶にたえません「これが新舞踊だ！」と銘打って日頃 本会の講習会等々で技を磨いてまいりました会員諸氏が所属する各流各派の異りを越えて一堂に集いこのような大会が開催できますことは本会の趣旨であります あくまでも歌謡曲舞踊（新舞踊）を愛好する会員の志ざしを同じくする結束心にはかありません お蔭様で本会は結成時より舞踊界の天才舞踊家と云われます日本舞踊^{うめわか}榎若流^{うめわか}宗家 榎若勸二郎先生を特別講師にお迎えし 先生のすばらしい振付と技をもつてご指導を賜ってまいりました 先生の日本舞踊（古典舞踊）を基礎とした本会の本格派新舞踊は皆様にも高く評価され今や会員が高らかに誇れる舞踊として愛好の方々が激増いたしております 新舞踊と云う新しい舞踊のジャンルは兎角軽視されておりますのが現状ではありますが本会は真剣に新舞踊に取り組むことによってそうした風潮を打破して皆様方のご期待に添えますよう今後共一層の研鑽を重ねる所存でございます

何卒 皆様には本日の公演を契機と致しまして益々の御支援ご声援を賜りますようお願い一同と共にお願い申し上げる次第でございます

昭和五十九年二月十二日

日本新舞踊振興会
会長 高 嶺 泉 勝

——日本新舞踊振興会の会員になりませんか——

本会は新舞踊（歌謡曲舞踊）を愛好する舞踊家及び同好者の集団です。流派・会派には一切関係ありませんのでどなたでも会員になることができます。本会は定期的に講習会や情報交換、発表公演等を催し会員相互の親睦と利益活動をしております。

●入会金 2,000円 ●年会費 3,000円 ●規定期間受講者には新舞踊指導資格免状が受けられます。

●入会お申込みは——NSS 日本新舞踊振興会 略称NSS
本部事務局 東京都江戸川区南小岩 8-9-3

電話 03 (672) 8824 〒133

業務時間 午後1時～6時(土・日・祭休)

最近の講習会にぜひご参加を……

- 2月24日(金)
- 3月9日(金)
- 3月23日(金)
- 4月20日(金)

■会場 浅草公会堂・第二集会室(4階)

■時間 午後1時より午後4時まで

新会員随時受付中

■ スタッフ

大道具	明治座大道具
照明	明治座照明部
音響	明治座音響部
衣裳	市川衣裳
かつら	寿々喜かつら
小道具	東邦美術
顔師	原多美江
狂言方	平島東憲
進行	日本新舞踊振興会
事務局	
協賛	ヨーロー堂レコード
協賛	レコード各社

主催 日本新舞踊振興会

東京都江戸川区南小岩八丁目九番二号
電話〇三(六七二)八八二四番テ一三三二